

令和5年度 第3回

今金町地域公共交通活性化協議会 (書面会議)

議案

- 報告第1号 (株)函館バス瀬棚線(721系統)の運行経路変更に伴う実証運行開始について(P1~3)
- 報告第2号 上地区(美利河・花石・中里・住吉・奥種川・光台)及び西部地区(神丘・鈴岡)におけるデマンドバス導入に伴う実証運行開始について(P4~11)
- 議案第1号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について(P12~18)
- 議案第2号 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について(P19~32)

報告第 1号

(株)函館バス瀬棚線 (721系統)の運行経路
変更に伴う実証運行開始について

函館バス 時刻表

令和6年1月4日改正

●721系統(瀬棚線) 瀬棚・上三本杉 ⇒ 長万部ターミナル

系統番号	大成方面より北松山でのバス接続	上三本杉	瀬棚市街	豊岡	北松山	玉川公園	松山北高校前	トマンケシ	今金役場前	今金	種川小学校前	花石	美利河ダム前	国縫	中ノ沢駅前	長万部駅前	長万部ターミナル	函館方面への国縫でのバス接続		JR長万部駅 列車時刻	
																		札幌行へ接続	函館行へ接続	札幌行へ接続	函館行へ接続
721		7:05	7:08	7:15	7:18	7:27	7:29	7:36	7:38	7:40	7:48	8:00	8:09	8:25	8:31	8:38	8:43	国縫発 8:47 函館到着 11:36	北斗3号 長万部 札幌着 9:06 11:28	北斗4号 長万部 函館着 9:11 10:38	
742		—	—	学生専用	7:35	7:44	7:46	土日祝・学休 運休		—	—	—	—	—	—	—	—				
721	大成発 7:16 北松山着 7:59	7:46	7:49	7:56	7:59	8:08	8:10	8:17	8:19	8:21	8:29	8:41	8:50	9:06	9:12	9:19	9:24		北斗5号(運休あり) 長万部 札幌着 10:29 12:49	北斗6号 長万部 函館着 11:06 12:34	
721		9:45	9:48	9:55	9:58	10:07	10:09	10:16	10:18	10:20	10:28	10:40	10:49	11:05	11:11	11:18	11:23	国縫発 12:09 函館到着 14:58	北斗7号 長万部 札幌着 11:33 13:52	北斗8号 長万部 函館着 12:05 13:35	
721		11:48	11:51	11:58	12:01	12:10	12:12	12:19	12:21	12:23	12:31	12:43	12:52	13:08	13:14	13:21	13:26	国縫発 15:02 函館到着 17:53	北斗11号 長万部 札幌着 13:44 16:04	北斗12号 長万部 函館着 14:37 16:08	
721	大成発 13:47 北松山着 14:30	14:35	14:38	14:45	14:48	14:57	14:59	15:06	15:08	15:10	15:18	15:30	15:39	15:55	16:01	16:08	16:13		北斗15号 長万部 札幌着 16:28 18:47	北斗16号 長万部 函館着 17:01 18:26	
721		16:05	16:08	16:15	16:18	16:27	16:29	16:36	16:38	16:40	16:48	17:00	17:09	17:25	17:31	17:38	17:43		北斗17号 長万部 札幌着 18:08 20:35	北斗18号 長万部 函館着 17:57 19:24	
743		—	—	学生専用	土日祝・学休 運休		16:29	16:36	16:38	16:40	—	—	—	—	—	—	—				
721		17:31	17:34	17:41	17:44	17:53	17:55	18:02	18:04	18:06	18:14	18:26	18:35	18:51	18:57	19:04	19:09		北斗19号 長万部 札幌着 19:19 21:36	北斗20号 長万部 函館着 19:15 20:39	
743		—	—	学生専用	土日祝・学休 運休		18:35	18:42	18:44	18:46	—	—	—	—	—	—	—				

※北斗5号(長万部発10:29)の列車は閑散期曜日運休となります

●721系統(瀬棚線) 長万部ターミナル ⇒ 瀬棚・上三本杉

系統番号	JR長万部駅 列車時刻		函館方面より国縫でのバス接続	長万部ターミナル	長万部駅前	中ノ沢駅前	国縫	美利河ダム前	花石	種川小学校前	今金	今金役場前	トマンケシ	松山北高校前	玉川公園	北松山	豊岡	瀬棚市街	上三本杉	大成方面への北松山でのバス接続
	札幌より接続	函館より接続																		
721				7:00	7:05	7:12	7:18	7:34	7:41	7:53	8:03	8:05	8:07	8:14	8:16	8:25	8:28	8:35	8:38	
743				—	—	—	—	学生専用	土日祝・学休 運休		8:03	8:05	8:07	8:14	—	—	—	—	—	
721	北斗4号 札幌発 6:52 長万部 9:11	北斗3号 函館発 7:37 長万部 9:06		9:26	9:31	9:38	9:44	10:00	10:07	10:19	10:29	10:31	10:33	10:40	10:42	10:51	10:54	11:01	11:04	
721	北斗6号 札幌発 8:43 長万部 11:06	北斗5号(運休あり) 函館発 9:00 長万部 10:29	函館駅発 7:28 国縫着 10:17	11:21	11:26	11:33	11:39	11:55	12:02	12:14	12:24	12:26	12:28	12:35	12:37	12:46	12:49	12:56	12:59	北松山発 12:54 大成着 13:37
721	北斗10号 札幌発 10:57 長万部 13:17	北斗9号 函館発 10:45 長万部 12:14	函館駅発 10:15 国縫着 13:06	13:22	13:27	13:34	13:40	13:56	14:03	14:15	14:25	14:27	14:29	14:36	14:38	14:47	14:50	14:57	15:00	
721	北斗12号 札幌発 12:09 長万部 14:37	北斗11号 函館発 12:15 長万部 13:44		14:56	15:01	15:08	15:14	15:30	15:37	15:49	15:59	16:01	16:03	16:10	16:12	16:21	16:24	16:31	16:34	北松山発 16:26 大成着 17:09
742				—	—	—	—	—	—	—	学生専用	土日祝・学休 運休		16:10	16:12	16:21	—	—	—	
741				—	—	—	—	—	—	—	学生専用	土日祝・学休 運休		17:00	17:02	17:11	17:14	17:21	17:24	
721	北斗16号 札幌発 14:38 長万部 17:01	北斗15号 函館発 15:01 長万部 16:28		17:16	17:21	17:28	17:34	17:50	17:57	18:09	18:19	18:21	18:23	18:30	18:32	18:41	18:44	18:51	18:54	土日祝学休運休 北松山発 18:41 大成着 19:24
721	北斗18号 札幌発 15:34 長万部 17:57	北斗17号 函館発 16:40 長万部 18:08	函館駅発 15:38 国縫着 18:27	18:17	18:22	18:29	18:35	18:51	18:58	19:10	19:20	19:22	19:24	19:31	19:33	19:42	19:45	19:52	19:55	

※北斗5号(函館発9:00)の列車は閑散期曜日運休となります

●710系統(快速瀬棚号) 瀬棚～函館

系統番号	上三本杉	瀬棚市街	豊岡	北松山	玉川公園	今金役場前	今金	八雲駅前	八雲病院入口	森川四区	新函館北斗駅	七飯役場通	昭和	新都市病院前	亀田支所前	五稜郭公園入	五稜郭	中央病院前	函館駅前	函館バスター
710	6:14	6:17	6:23	6:26	6:34	6:43	6:46	7:51	7:53	8:25	8:57	9:09	9:22	9:23	9:26	9:33	9:34	9:37	9:50	9:59
	函館バスター	函館駅前	中央病院前	五稜郭	五稜郭公園入	亀田支所前	新都市病院前	昭和	七飯役場通	新函館北斗駅	森川四区	八雲病院入口	八雲駅前	今金	今金役場前	玉川公園	北松山	豊岡	瀬棚市街	上三本杉
	14:51	15:00	15:12	15:15	15:16	15:25	15:28	15:29	15:42	15:54	16:19	16:55	17:05	18:05	18:08	18:16	18:24	18:27	18:33	18:36

●久遠線 北松山～大成学校前・第二富磯

系統番号	北松山での接続	松山北高校前	北松山	柳前	若松	若松十字街	二俣学校前	ボン金ヶ沢	長生園前	宮野	下宮野	花歌	久遠東部	大成学校前	上浦	第二富磯	備考	
722	—	—	6:24	6:34	6:37	6:38	6:44	6:46	6:56	6:58	6:59	7:01	7:03	7:06	—	—		
722	長万部より 12:49着	—	12:54	13:04	13:07	13:08	13:14	13:17	13:27	13:29	13:30	13:32	13:34	13:37	—	—		
723	長万部より 16:21着	—	16:26	16:36	16:39	16:40	16:46	16:49	16:59	17:01	17:02	17:04	17:06	17:09	17:11	17:15	日曜・祝日は大成学校前終点	
744	長万部より 18:41着	—	18:30	18:41	18:51	18:54	18:55	19:01	19:04	19:14	19:16	19:17	19:19	19:21	19:24	—	—	土日・祝日・学休運休
系統番号	第二富磯	上浦	大成学校前	久遠東部	花歌	下宮野	宮野	長生園前	ボン金ヶ沢	二俣学校前	若松十字街	若松	柳前	北松山	松山北高校前	北松山での接続	備考	
744	—	—	7:16	7:19	7:21	7:23	7:24	7:26	7:36	7:39	7:45	7:46	7:49	7:59	8:10	長万部行 7:59発	土日・祝日は北松山終点	
722	—	—	13:47	13:50	13:52	13:54	13:55	13:57	14:07	14:10	14:16	14:17	14:20	14:30	—	長万部行 14:30発		
723	17:25	17:29	17:31	17:34	17:36	17:38	17:39	17:41	17:51	17:53	17:59	18:00	18:03	18:13	—	—	日曜・祝日は大成学校前始発	



函館バス株式会社 北松山出張所

TEL (0137) 84-5434

<http://www.hakobus.co.jp/>

地域の足として、これからも走り続けます



2024年1月4日(木)より

721系統：瀬棚線のダイヤ改正について

【実証実験運行】運行時間・運行経路が一部変更となります

路

110

2023年12月

お客様各位

函館バス株式会社

いつも函館バスをご利用いただきまして、ありがとうございます。
2024（令和6）年1月4日（木）より、「721系統：瀬棚線」におきまして、下記のとおりダイヤ改正を実施いたします。

記

【721系統(瀬棚線)ダイヤ改正・実証実験運行について】

実施日：2024年1月4日（木） 始発より

変更内容：721系統（瀬棚線）の経路のうち、「花石～北住吉」バス停の区間において、①バスは国道230号を經由し、「住吉橋～生産センター前」間の運行はいたしません、②バスが通らなくなる当該区間においては、デマンドバスの運行を行ない、お客様の移動手段を確保いたします。



運行時刻：上記経路変更に伴ない、上下線とも運行時刻の変更を行ないます。詳細は別紙をご確認ください。

以上

報告第 2号

上地区 (美利河・花石・中里・住吉・奥種川・光台)
及び西部地区 (神丘・鈴岡)における
デマンドバス導入に伴う実証運行開始について

許 可 書

有限会社東ハイヤー
代表取締役 松本 年弘 殿

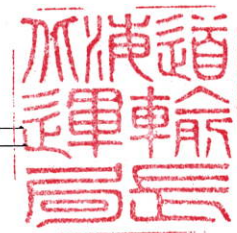
令和5年10月27日付け申請の一般貸切旅客自動車運送事業及び一般乗
用旅客自動車運送事業による乗合旅客運送は、下記のとおり許可する。

記

1. 運送の区域
今金町（美利河、宮島、花石、中里、住吉、種川、光台、神丘及
び鈴岡）に限る。
2. 許可期間
令和6年1月4日から令和6年3月31日まで
3. 条件
この許可による運行は、今金町地域公共交通活性化協議会から
の要請によるものであり、この形態に該当しなくなった場合は許
可を取り消すこととする。

令和5年12月11日

北海道運輸局長 井上 健二



上地区

美利河・花石・
中里・住吉・

奥種川・光台地区

令和6年1月4日～令和6年3月31日

●利用料金

スクールバス 無料
予約バス 片道200円

●予約先 東ハイヤー

TEL: 82-0166

FAX: 82-0176

●予約バスに関するお問い合わせ

役場まちづくり推進課

☎82-0111



●予約バス「ルンるん号」とは？

車がない、送迎を頼める人がいないなど、市街地への外出にお困りの皆さんのために、病院やお買い物、幹線バスへの乗継など様々な使い方ができ、予約があった時だけ走る新しい交通網です。※予約人数によって車両が変わります。

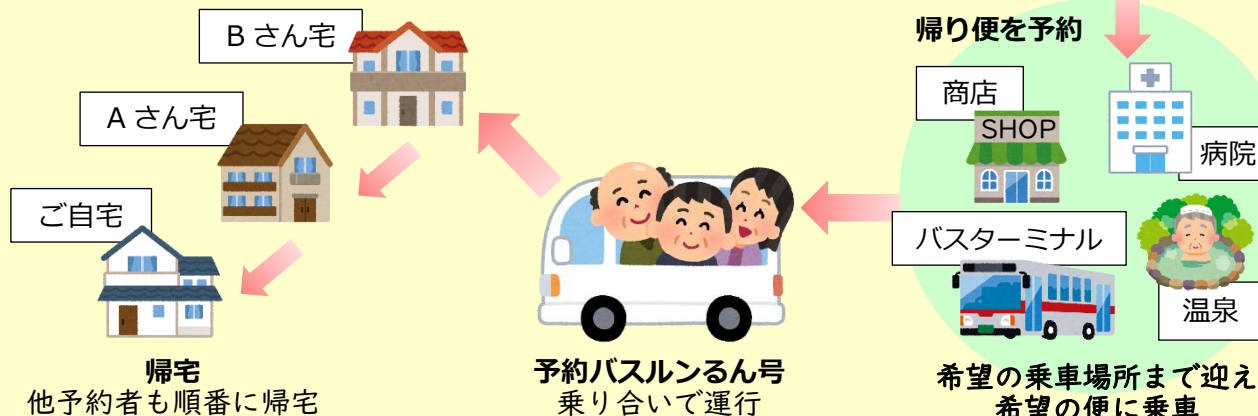
行き便

※運行のイメージです。

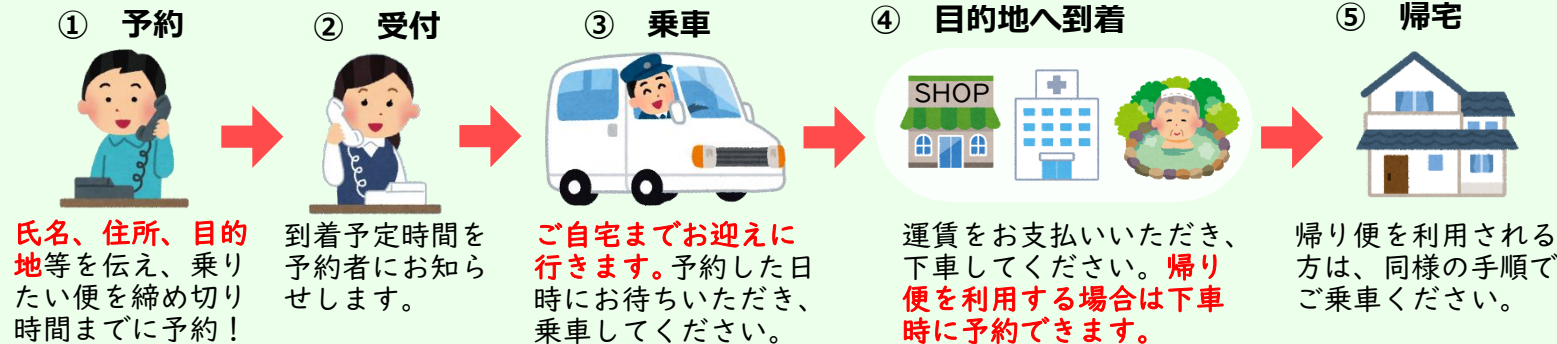


帰り便

帰り便のみご利用の場合は、電話又はFAXにてご予約願います。



●ご利用のながれ



上地区

(美利河・花石・中里・

住吉・奥種川・光台地区) 予約バス「ルンるん号」時刻表

【予約先】東ハイヤー TEL 82-0166

FAX 82-0176

●行き便 (1便：月曜日～金曜日運行、2便：火曜日～金曜日運行、祝日は運休)

便	片道料金	予約時間	出発時間	予約バス順路の目安時間					
				① 丸山宅前	② 伊藤宅前	③ 種川小学校前	④ 種川温泉前	⑤ 坂上宅前	
行き1便 スクールバス (月～金)	無料	前日17:00まで ★小中学校の休校日(祝日、夏休み等)は運休です。 ★児童生徒宅付近からの乗車となり、満席の場合は利用できないことがあります。	東ハイヤー 6:50	① 丸山宅前	② 伊藤宅前	③ 種川小学校前	④ 種川温泉前	⑤ 坂上宅前	
				7:15	7:37	7:44	7:46	7:47	
				⑥ 藤倉宅前	⑦ 村本宅前	⑧ 今金中学校前	⑨ 今金小学校前	町内最寄施設	
				7:48	7:50	8:00	8:05	国保病院、Aコープ、あったからんど等	
行き2便 予約バス (火～金)	200円	前日17:00まで または 当日 8:00まで	東ハイヤー 8:35 (火・木) ※上段 9:35 (水・金) ※下段	① 青山宅前 (美利河)	② 大清水宅前 (美利河)	③ 花石郵便局	④ 遠藤宅前 (花石)	⑤ 森宅前 (中里)	⑥ 中島宅前 (住吉)
				9:00 10:00	9:02 10:02	9:10 10:10	9:12 10:12	9:20 10:20	9:28 10:28
				⑦ 小泉宅前 (住吉)	⑧ 下種川 会館前	⑨ 奥種川 会館前	⑩ 光台会館前	⑪ 今金バス ターミナル	町内最寄施設
				9:33 10:33	9:40 10:40	9:45 10:45	9:50 10:50	10:00 11:00	国保病院、Aコープ、あったからんど等

※予約者のご自宅までお迎えに行きます。上記の時間は運行の目安です。
※長万部方面へ向かう際は、上記運行時間であれば最寄りのバス停での降車も可能です。

●帰り便 (1便：火曜日～金曜日運行、2便・3便：月曜日～金曜日運行、祝日は運休)

便	片道料金	予約時間	乗車場所	スクールバス・予約バス順路の目安時間			留意事項
				今金市街	種川小学校	下車場所	
帰り1便 予約バス	200円	11:30まで	町内最寄施設 国保病院、Aコープ、あったからんど等	12:20	—	予約者の 自宅前まで	★2便と3便はスクールバス(予約必要)。 無料で乗車できますが、下車場所は児童生徒宅付近となります。 ★スクールバスは、小中学校の休校日(土曜日・夏休み等)は、運行いたしません。
帰り2便 スクールバス	無料	13:00まで		13:40	13:55	児童生徒宅 付近まで	
帰り3便 スクールバス	無料	14:00まで		14:45	15:00		



美利河線(美利河・花石・中里・住吉・奥種川・光台方面)

今金町 予約バス ルンるん号 時刻表

神丘・鈴岡地区

令和6年1月4日～令和6年3月31日

●利用料金

スクールバス 無料
予約バス 片道200円

●予約先 東ハイヤー

TEL: 82-0166

FAX: 82-0176

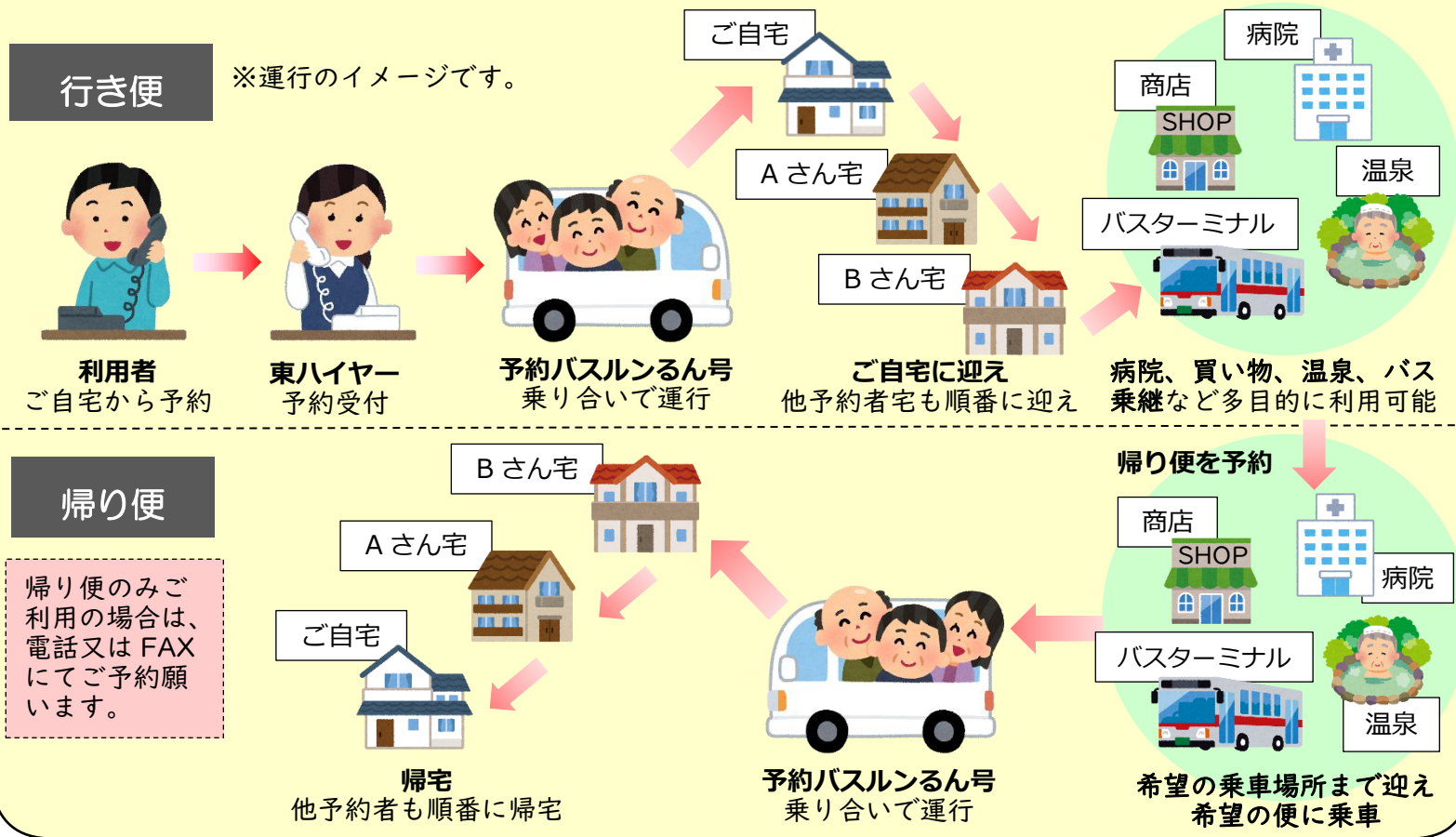
●予約バスに関するお問い合わせ

役場まちづくり推進課

☎82-0111

●予約バス「ルンるん号」とは？

車がない、送迎を頼める人がいないなど、市街地への外出にお困りの皆さんのために、病院やお買い物、幹線バスへの乗継など様々な使い方ができ、予約があった時だけ走る新しい交通網です。※予約人数によって車両が変わります。



●ご利用のながれ

① 予約



氏名、住所、目的地等を伝え、乗りたい便を締め切り時間までに予約！

② 受付



到着予定時間を予約者にお知らせします。

③ 乗車



ご自宅までお迎えに行きます。予約した日時にお待ちいただき、乗車してください。

④ 目的地へ到着

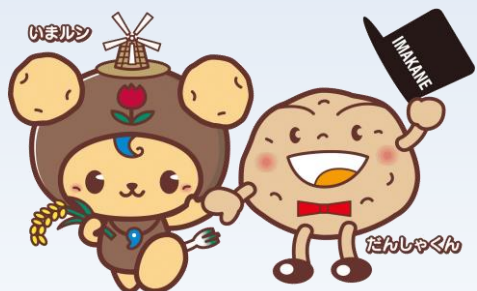


運賃をお支払いいただき、下車してください。帰り便を利用する場合は下車時に予約できます。

⑤ 帰宅



帰り便を利用される方は、同様の手順でご乗車ください。



神丘・鈴岡地区 予約バス「ルンるん号」時刻表

【予約先】東ハイヤー TEL 82-0166
FAX 82-0176

●行き便 (月曜日～金曜日運行、祝日は運休)

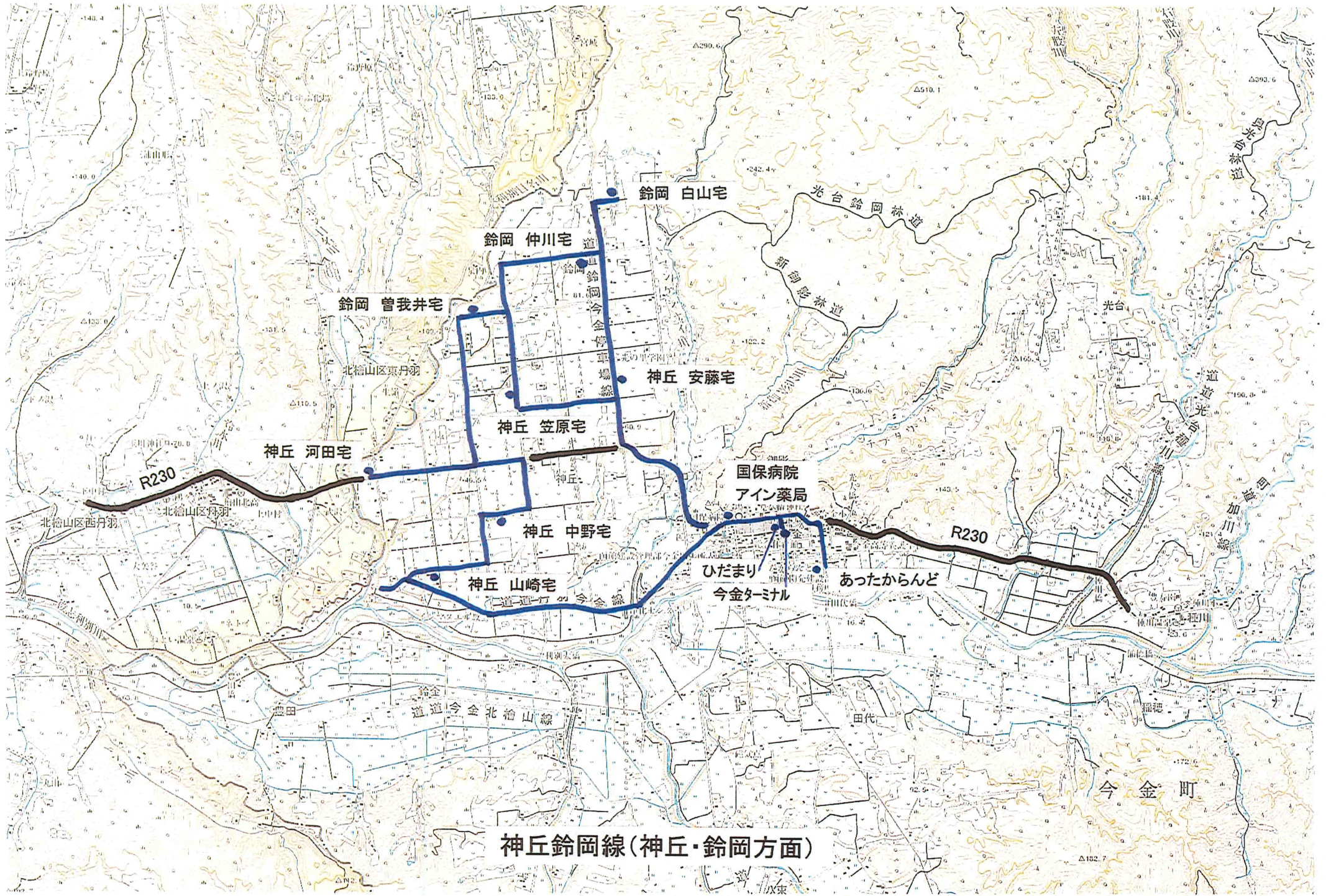
便	片道料金	予約時間	出発時間	予約バス順路の目安時間								
				① 伊庭野宅前	② 伊藤宅前	③ 鈴岡会館前	④ 吉本宅前	⑤ 石川宅前	⑥ 楠原宅前	⑦ 田中宅前	⑧ 矢野宅前	⑨ 平野宅前
行き1便 スクールバス (月～金)	無料	前日17:00まで ★小中学校の休校日(祝日、夏休み等)は運休です。 ★児童生徒宅付近からの乗車となり、満席の場合は利用できないことがあります。	今金市街 7:00	7:13	7:15	7:18	7:20	7:23	7:25	7:28	7:32	7:34
				⑩ 山崎宅前	⑪ 役場前バス停	⑫ 今金小学校	⑬ 今金バスターミナル	⑭ 今金中学校	⑮ 寒昇公園前	⑯ 種川小学校	町内最寄施設	
				7:38	7:42	7:44	7:47	7:50	7:52	8:00	国保病院、Aコープ、あったからんど等	
行き2便 予約バス (月～金)	200円	前日17:00まで または 当日 8:00まで	東ハイヤー 8:50 (月・水・金) ※上段 9:50 (火・木) ※下段	① 安藤宅前	② 笠原宅前	③ 白山宅前	④ 仲川宅前	⑤ 曾我井宅前				
				9:00	9:08	9:20	9:23	9:30				
				10:00	10:08	10:20	10:23	10:30				
				⑥ 河田宅前	⑦ 中野宅前	⑧ 山崎宅前	⑨ 今金バスターミナル	町内最寄施設				
				9:40	9:45	9:48	9:58	10:40	10:45	10:48	10:58	国保病院、Aコープ、あったからんど等

※予約者のご自宅まで迎えに行きます。上記の時間は運行の目安です。
※せたな方面へ向かう際は、上記運行時間であれば最寄りのバス停での降車も可能です。

●帰り便 (月曜日～金曜日運行、祝日は運休)

便	片道料金	予約時間	乗車場所	目安時間	
				今金市街	下車場所
帰り便 予約バス	200円	11:30まで	町内最寄施設 国保病院、Aコープ、あったからんど等	12:20	予約者の 自宅前まで

※帰り便スクールバスへの混乗も可能ですが、町内小中学校の下校時間に合わせて運行するため時間や乗降場所については限られますので、詳細はお問合せの上、要相談となります。



神丘鈴岡線(神丘・鈴岡方面)

議案第 1号

地域公共交通確保維持改善事業に関する
事業評価の実施について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和 6年 1月 15日

協議会名：今金町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

補助対象事業者等	事業概要	前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	事業実施の適切性	目標・効果達成状況	事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
有限会社 東ハイヤー	予約バス「ルンるん号」 八束・白石地区 金原・豊田地区 日進地区 田代・稲穂地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙面やチラシの配布等を行い、利用促進を図った。 ・ 市街地エリアでの乗車を継続して実施した。 	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 八束・白石地区、金原・豊田地区、日進地区の3路線は昨年度と比較して利用者が増加したが、田代・稲穂地区については利用者が大幅に減少した。 全体で見ると、昨年度より利用者増となったが目標を下回った。 要因としては、日常的に乗車していた利用者の対象地区外への転居や人口減少によるものと考えられる。 目標：3,750人 実績：3,436人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者への聞き取り等によりニーズを適切に把握し、ダイヤ設定の見直しなどを検討する。 ・ 広報紙面やチラシの配布等継続した情報発信を行い、利用促進を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 6年 1月 15日

協議会名：	今金町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>今金町は北海道渡島半島の北部に位置し、南はユーラップ山系を挟んで八雲町と、北は狩場山系を介して島牧村と、東は低い山地を経て長万部町と、西はせたな町と接しており、四方が山岳丘陵に囲まれた内陸地である。面積は 568.25km²、人口は 4,646人（令和 5 年 10月 末現在住民基本台帳）。</p> <p>人口のうち約 2割が 75歳以上の高齢者で、その割合はさらに増加することが予想されており、現在の自家用車中心の地域交通のままでは今後日常生活において不便が生じる世帯が増加することが懸念される。</p> <p>このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的として、地域間幹線系統（函館バス瀬棚線）に接続する地域内フィーダー系統のデマンドバスを運行し、患者輸送バスやスクールバスの運行も併せて見直しながら、地域の生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>

今金町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業 施の目的・必要性

今金町は人口の約 2割が 75歳以上の高齢者であり、その割合は更に増加することが予想されるため、現在の自家用車中心の地域交通のままでは今後日常生活において不便が生じる世帯が増加することが懸念される。

このため、町内の交通不便地域の解消を図ることを目的として、地域間幹線系統（函館バス瀬棚線）に接続する地域内フィーダー系統のデマンドバスを運行し、地域の生活交通ネットワークの構築を進めるところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

前年度と比較し、利用者数が減少したことから、前年度申請と同等以上の利用実績を目標とする。

予約バス「レンるん号」全体の利用者数 3,750人

令和 5 年度事業概要

予約バス「レンるん号」【八束・白石地区】【金原・豊田地区】【日進地区（補助対象外）】【田代・稲穂地区（補助対象外）】

運行形態：デマンド型フィーダー路線

運行事業者：有限会社東ハイヤー

運行日：平日、土曜日（日曜日・祝日は運休）

運賃：1回（片道）200円

地域公共交通の現況

- ・函館バス株式会社（町内 路線）
～国鉄廃止に伴う代替幹線バス路線
- ・スクールバス

協議会開催状況

令和 5 年 6 月 9 日 令和 5 年度第 1 回協議会を開催（書面会議）

・収支決算及び収支予算案の承認、本計画の承認

令和 5 年 10 月 4 日 令和 5 年度第 2 回協議会を開催

・役員を選出、実証運行について

令和 6 年 1 月 15 日 令和 5 年度第 3 回協議会を開催（書面会議）

・実証運行開始の報告、事業評価の承認、本計画の変更について

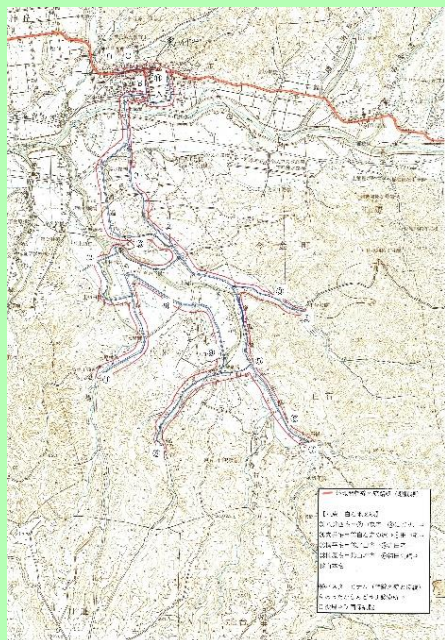
令和5年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・フィーダー路線のエリア選択は、平成25年度実施の今金町地域交通サービス導入調査及び地理的事情に勘案し決定。
- ・前年度に実証調査運行を行い、最終的なダイヤを決定。
- ・地域住民説明会の開催、町広報紙による周知、運行地区全世帯への時刻表の配布、患者輸送バスに同乗し制度切り替えの説明等により、住民周知を行った。
- ・平成30年4月より、複数名又は団体による一括予約やファックスでの予約を可能とし、より利用しやすい受付体制を整えた。
- ・令和元年7月より、これまで下車のみであった市街地エリアでも乗車を可能とし、継続して運行を実施した。

2) 運行系統

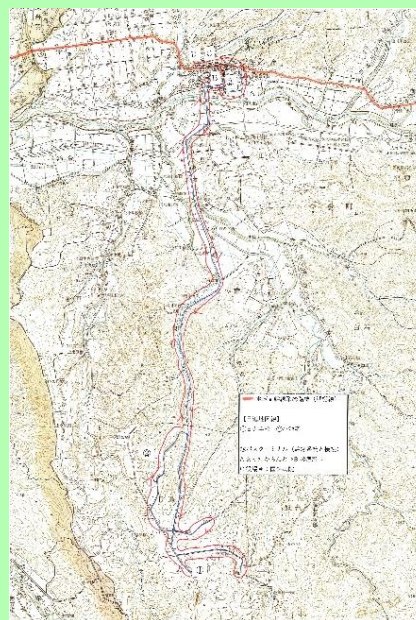
八束・白石地区



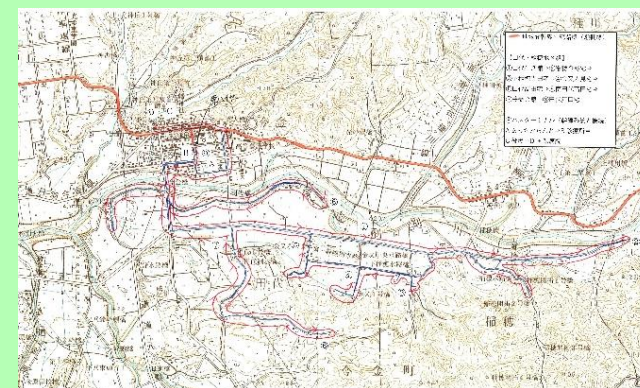
金原・豊田地区



日進地区

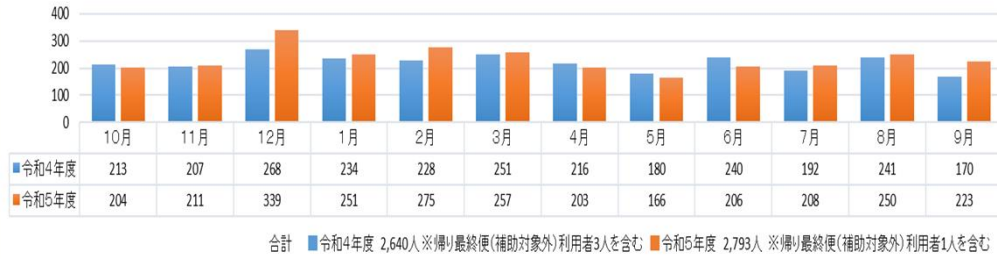


田代・稲穂地区

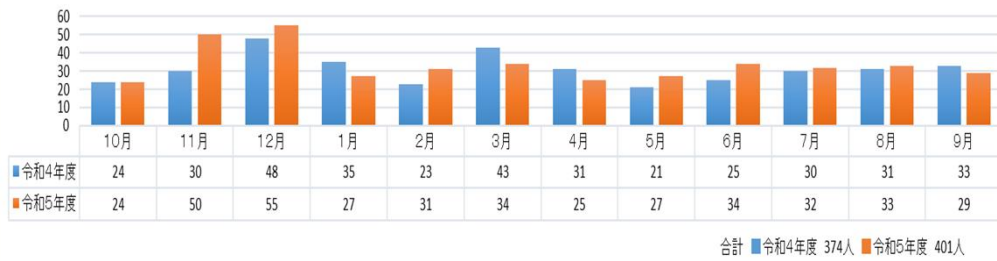


3) 利用 績

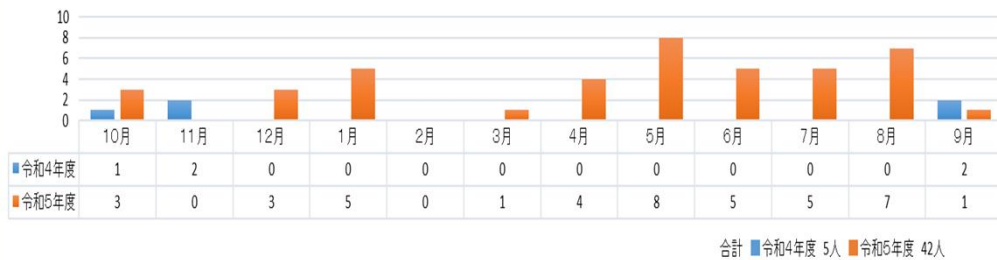
八束・白石地区



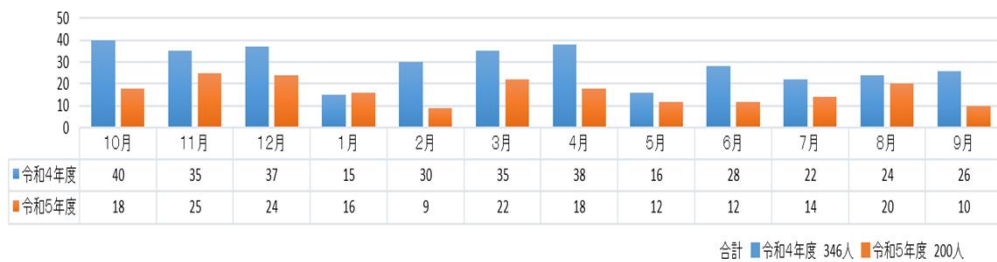
金原・豊田地区



日進地区(補助対象外)



田代・稲穂地区(補助対象外)

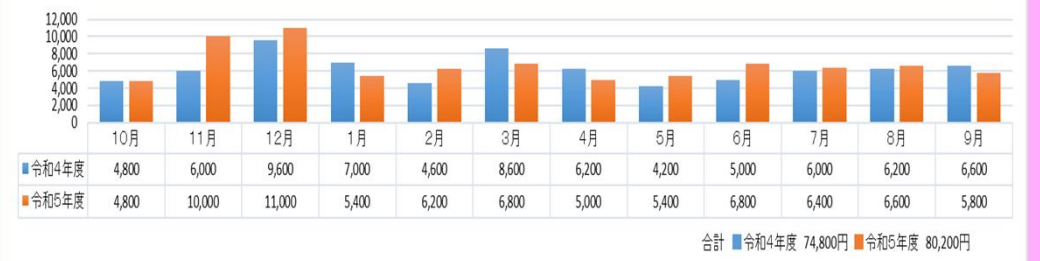


4) 収 入 績

八束・白石地区



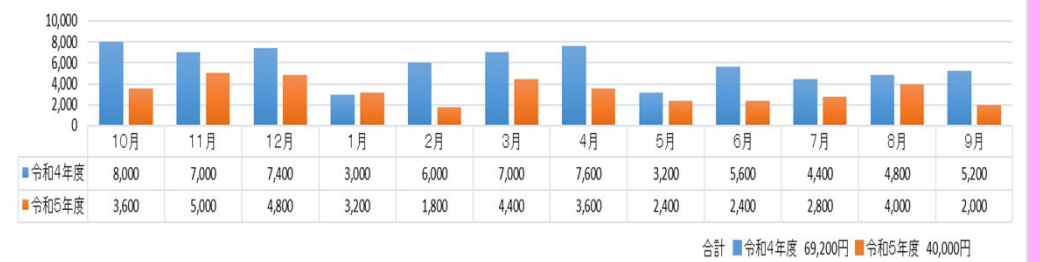
金原・豊田地区



日進地区(補助対象外)



田代・稲穂地区(補助対象外)



5)事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6)目標 効果達成状況

八束・白石地区、金原・豊田地区、日進地区の3路線は昨年度と比較して利用者が増加したが、田代・稲穂地区については利用者が大幅に減少した。

全体で見ると、昨年度より利用者増となったが目標を下回った。要因としては、日常的に乗車していた利用者の対象地区外への転居や人口減少によるものと考えられる。

目標 : 3,750人 / 年

実績 : 3,436人 / 年 (91.0%)

7)事業の今後の改善点

- ・利用者への聞き取り等によりニーズを適切に把握し、ダイヤ設定の見直しなどを検討する。
- ・広報紙面やチラシの配布等継続した情報発信を行い、利用促進を図る。

8)地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄

議案第2号

令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の
変更について

記載箇所抜粋

令和5年11月1日

令和5年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 交付申請書作成における留意事項等

北海道運輸局交通政策部交通企画課

(7) 計画運行回数と実績運行回数に著しく乖離が生じた場合における取扱いについて

①乗合バス型（路線定期・路線不定期）運行

地域内フィーダー系統確保維持計画に記載された補助対象期間中の計画運行回数に対する実績運行回数の運行割合が30%に満たなかった系統は、補助対象外となります。

②デマンド型（区域）運行

待機時間を含めたサービス提供時間の割合にかかわらず、上記①と同様、地域内フィーダー系統確保維持計画に記載された補助対象期間中の計画運行回数に対する実績運行回数の運行割合が30%に満たなかった系統は、補助対象外となります。

【計画変更理由の概要（田代稻穂地区線について）】

○令和5補助年度当初申請時

計画運行回数591回

- ・ 平日運行回数 494回（運行率50%）
- ・ 休日運行回数 97回（運行率30%）

○令和5補助年度実績

計画運行回数591回に対し、

- ・ 実績運行回数175回
- ・ 運休回数416回

175回/591回 = 運行割合 **29.61%**（利用人数200人）

【前年度比較】 令和4補助年度運行割合45.19%（利用人数347人）

※利用人数大幅減に伴い運行割合も減少

国庫補助金対象となるのは、運行割合 **30%以上**

【参考】 令和5補助年度運行割合 八束白石地区線：76.32%、金原豊田地区線：57.32%

○令和6補助年度当初申請時

計画運行回数590回

- ・ 平日運行回数 492回（運行率50%）
- ・ 休日運行回数 98回（運行率30%）

昨年と利用人数が同等だった場合、

運行割合が再度 **30%未満** となる可能性

○計画変更後

計画運行回数 **399**回

- ・ 平日運行回数 **301**回（運行率**30%**）
- ・ 休日運行回数 98回（運行率30%）

※変更の基準範囲内で運行率を減少

運行回数175回（令和5補助年度実績）であった場合

175回/301回 = 運行割合 **43.8%** 国庫補助金対象となる

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 今金町地域公共交通活性化協議会
住 所 瀬棚郡今金町字今金48番地1
代表者氏名 会長 中島光弘

地域公共交通計画変更届出書

令和5年9月29日付け国総地第83号で国土交通大臣より認定された地域公共交通計画を以下のとおり変更するので、関係書類を添えて届出します。

- 変更日
令和6年1月26日
- 変更箇所
 - ・地域公共交通計画別紙（18.協議会の開催状況と主な議論）
 - ・表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運送予定者（地域内フィーダー系統）
- 変更理由
前年度運行率を参考にした平日運行回数調整のため

※本届出書に、変更する事項を全て記した地域公共交通計画別紙を添付すること。

※「変更理由」は、具体的に記述すること。

※変更前

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

令和6年度

市区町村	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便 増進 特例 措置	運送 継続 特例 措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地 営業区域	終点						運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹線 系統等と接続の確保	基準ホで該当 する要件 (別表7のみ)
今金町	有限会社 東ハイヤー	(1) 八東白石地区線		今金町		往 km 復 km	296 日	830.0 回			区域運行	①	瀬棚線が起点となるバス停が共有であるとともに、乗り継ぎにも適したダイヤ設定とする。(今金停留所)	③
		(2) 金原豊田地区線		今金町		往 km 復 km	296 日	523.0 回			区域運行	①	瀬棚線が起点となるバス停が共有であるとともに、乗り継ぎにも適したダイヤ設定とする。(今金停留所)	③
		(3) 田代稲穂地区線		今金町		往 km 復 km	297 日	590.0 回			区域運行	①	瀬棚線が起点となるバス停が共有であるとともに、乗り継ぎにも適したダイヤ設定とする。(今金停留所)	③
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載すること。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

※変更前

運行回数・サービス提供時間算定表③

運行系統		計画運行回数 (い) E		計画運行日数 B	297.0	実績運行日数 F		実績運行回数 (ろ) J	590.0	サービス提供時間(り) 0		実績		備考				
田代稲穂地区線		計画		調整後の運行回数		運行回数*1		サービス提供時間		実績		備考						
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整率 D	C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O	備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)	
5年	10月	平日	往 2 復 2	21	84.0	50.0%	42.0					時間						
		土曜	往 2 復 4	4	24.0	30.0%	8.0						時間					
		往																
		復																
		往																
		復																
小計			25	108.0		50.0												

*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。
(往、復、循環各1回)
*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月		曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整率 D	C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O	備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)
5年	11月	平日	往 2 復 2	20	80.0	50.0%	40.0						時間					
		土曜	往 2 復 4	4	24.0	30.0%	8.0						時間					
		往																
		復																
		往																
		復																
小計			24	104.0		48.0												

年月		曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整率 D	C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O	備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)
5年	12月	平日	往 2 復 2	21	84.0	50.0%	42.0						時間					
		土曜	往 2 復 4	5	30.0	30.0%	9.0						時間					
		往																
		復																
		往																
		復																
小計			26	114.0		51.0												

※変更前

運行回数・サービス提供時間算定表③

運行系統		計画運行回数		実績運行回数		サービス提供時間		備考																	
田代稲穂地区線		計画運行回数 (い) E	590.0	実績運行回数 (ろ) J		サービス提供時間(り) O	0	運行回数 (い)-(ろ)=(は) 590.0		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)															
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)														
			運行回数 B	調整後の運行回数 C×D=E	運行回数*1	運行回数	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J		サービス提供時間													
				調整率 D						実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O											
6年	1月	平日	往	2	21	84.0	50.0%	42.0																	
			復	2																					
	土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0																		
		復	4																						
			往																						
			復																						
		往																							
		復																							
小計				25	108.0		50.0																		

*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。
(往、復、循環各1回)

*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)													
			運行回数 B	調整後の運行回数 C×D=E	運行回数*1	運行回数	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J		サービス提供時間												
				調整率 D						実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O										
6年	2月	平日	往	2	19	76.0	50.0%	38.0																
			復	2																				
	土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0																	
		復	4																					
			往																					
			復																					
		往																						
		復																						
小計				23	100.0		46.0																	

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計画			実績					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)													
			運行回数 B	調整後の運行回数 C×D=E	運行回数*1	運行回数	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J		サービス提供時間												
				調整率 D						実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O										
6年	3月	平日	往	2	20	80.0	50.0%	40.0																
			復	2																				
	土曜	往	2	5	30.0	30.0%	9.0																	
		復	4																					
			往																					
			復																					
		往																						
		復																						
小計				25	110.0		49.0																	

※変更前

運行回数・サービス提供時間算定表③

運行系統		計画運行回数 (い) E		計画運行日数 B	297.0	実績運行日数 F	297.0	運休回数 (い)-(ろ)=(は)	590.0	*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。 (往、復、循環各1回) *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの										
田代稲穂地区線		計画運行回数 (い) E		590.0	実績運行回数 (ろ)	J	590.0	やむを得ない運休回数 (に) I	0	サービス提供時間(り) O										
年月	曜日区分	片道・循環回数 A		計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)			
				運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間								
				B	A×B=C	D	C×D=E	F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O			
6年	4月	平日	往	2	21	84.0	50.0%	42.0					時間							
			復	2																
	土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0						時間							
		復	4																	
			往																	
			復																	
		往																		
		復																		
小 計				25	108.0		50.0													

年月	曜日区分	片道・循環回数 A		計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)			
				運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間								
				B	A×B=C	D	C×D=E	F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O			
6年	5月	平日	往	2	21	84.0	50.0%	42.0					時間							
			復	2																
	土曜	往	2	3	18.0	30.0%	6.0						時間							
		復	4																	
			往																	
			復																	
		往																		
		復																		
小 計				24	102.0		48.0													

年月	曜日区分	片道・循環回数 A		計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)			
				運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間								
				B	A×B=C	D	C×D=E	F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O			
6年	6月	平日	往	2	20	80.0	50.0%	40.0					時間							
			復	2																
	土曜	往	2	5	30.0	30.0%	9.0						時間							
		復	4																	
			往																	
			復																	
		往																		
		復																		
小 計				25	110.0		49.0													

※変更前

運行回数・サービス提供時間算定表③

*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。
 (往、復、循環各1回)
 *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	田代稲穂地区線	計画			実績			サービス提供時間					備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)						
		運行日数	運行回数	調整後の運行回数	運行日数	増便	運休(-)	C+G+H=	実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間		K+L+M+N=					
		計画運行日数 B	297.0	実績運行日数 F		運休回数 (い)-(ろ)=(は)	590.0												
		計画運行回数 (い) E	590.0	実績運行回数 (ろ) J		やむを得ない運休回数 (に) l													
				サービス提供時間(り) 0		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)													
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整率 D	調整後の運行回数 C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休(-) H	天災*2 l	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O	備考		
6年	7月	平日	往 2	22	88.0	50.0%	44.0					時間							
		復 2	時間																
	土曜	往 2	4	24.0	30.0%	8.0							時間						
		復 4											分						
		往											計						
		復																	
	往																		
	復																		
小計			26	112.0		52.0													

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整率 D	調整後の運行回数 C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休(-) H	天災*2 l	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O	備考		
6年	8月	平日	往 2	21	84.0	50.0%	42.0					時間							
		復 2	時間																
	土曜	往 2	5	30.0	30.0%	9.0							時間						
		復 4											分						
		往											計						
		復																	
	往																		
	復																		
小計			26	114.0		51.0													

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整率 D	調整後の運行回数 C×D=E	運行日数 F	増便 G	運休(-) H	天災*2 l	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O	備考		
6年	9月	平日	往 2	19	76.0	50.0%	38.0					時間							
		復 2	時間																
	土曜	往 2	4	24.0	30.0%	8.0							時間						
		復 4											分						
		往											計						
		復																	
	往																		
	復																		
小計			23	100.0		46.0													
合計			297	1,290.0		590.0													

※変更後

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

令和6年度

市区町村	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便 増進 特例 措置	運送 継続 特例 措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地 営業区域	終点						運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹線 系統等と接続の確保	基準ホで該当 する要件 (別表7のみ)
今金町	有限会社 東ハイヤー	(1) 八東白石地区線		今金町		往 km 復 km	296 日	830.0 回			区域運行	①	瀬棚線が起点となるバス停が共有であるとともに、乗り継ぎにも適したダイヤ設定とする。(今金停留所)	③
		(2) 金原豊田地区線		今金町		往 km 復 km	296 日	523.0 回			区域運行	①	瀬棚線が起点となるバス停が共有であるとともに、乗り継ぎにも適したダイヤ設定とする。(今金停留所)	③
		(3) 田代稲穂地区線		今金町		往 km 復 km	297 日	399.0 回			区域運行	①	瀬棚線が起点となるバス停が共有であるとともに、乗り継ぎにも適したダイヤ設定とする。(今金停留所)	③
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載すること。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

※変更後

運行回数・サービス提供時間算定表③

運行系統		計画運行回数 (い) E		計画運行日数 B	297.0	実績運行日数 F		実績運行回数 (ろ) J		サービス提供時間(り) 0		運休回数 (い)-(ろ)=(は) 399.0		やむを得ない運休回数 (に) l		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)			
年月	曜日区分	片道・循環回数 A		計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
				運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間							
				B	A×B=C	D	C×D=E	F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 l	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O		
5年	10月	平日	往	2	21	84.0	30.0%	26.0					時間						
			復	2															
		土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0					時間						
			復	4															
			往											計					
			復																
※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間十分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)																			
小 計				25	108.0		34.0												

*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。
(往、復、循環各1回)
*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	曜日区分	片道・循環回数 A		計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
				運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間							
				B	A×B=C	D	C×D=E	F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 l	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O		
5年	11月	平日	往	2	20	80.0	30.0%	24.0					時間						
			復	2															
		土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0					時間						
			復	4															
			往											計					
			復																
※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間十分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)																			
小 計				24	104.0		32.0												

年月	曜日区分	片道・循環回数 A		計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)		
				運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間							
				B	A×B=C	D	C×D=E	F	増便 G	運休 (-) H	天災*2 l	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O		
5年	12月	平日	往	2	21	84.0	30.0%	26.0					時間						
			復	2															
		土曜	往	2	5	30.0	30.0%	9.0					時間						
			復	4															
			往											計					
			復																
※「時間単位」で入力する場合は「上段」、「時間十分単位」で入力する場合は「下段」に入力してください。(下段は「分」のみでも入力できます) ※当月の合計値を入力してください。(曜日毎に分ける必要はありません) ※数値のみ入力してください(単位は自動入力されます)																			
小 計				26	114.0		35.0												

※変更後

運行回数・サービス提供時間算定表③

運行系統		計画運行回数 (い) E		計画運行回数 B	297.0	実績運行回数 F	399.0	運休回数 (い)-(ろ)=(は)	399.0	*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。 (往、復、循環各1回) *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの																
田代稲穂地区線		計画運行回数 (い) E		計画運行回数 B	297.0	実績運行回数 (ろ) J	399.0	やむを得ない運休回数 (に) I	399.0	サービス提供時間(り) 0																
年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A	計 画			実 績					備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)															
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I				C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O													
6年 1月	平日	往	2	21	84.0	30.0%	26.0																			
		復	2																							
	土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0																			
		復	4																							
		往																								
		復																								
	往																									
	復																									
小 計				25	108.0		34.0																			

年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A	計 画			実 績					備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)														
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I				C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O												
6年 2月	平日	往	2	19	76.0	30.0%	23.0																		
		復	2																						
	土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0																		
		復	4																						
		往																							
		復																							
	往																								
	復																								
小 計				23	100.0		31.0																		

年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A	計 画			実 績					備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)														
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I				C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O												
6年 3月	平日	往	2	20	80.0	30.0%	24.0																		
		復	2																						
	土曜	往	2	5	30.0	30.0%	9.0																		
		復	4																						
		往																							
		復																							
	往																								
	復																								
小 計				25	110.0		33.0																		

※変更後

運行回数・サービス提供時間算定表③

運行系統		計画運行回数 (い) E		計画運行日数 B	297.0	実績運行日数 F	399.0	運休回数 (い)-(ろ)=(は)	399.0	*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。 (往、復、循環各1回) *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの																
田代稲穂地区線		計画運行回数 (い) E		399.0	実績運行回数 (ろ)	J	0	やむを得ない運休回数 (に) I	0	運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)																
年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績					備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)															
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I				C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O													
6年	4月	平日	往	2	21	84.0	30.0%	26.0																		
			復	2																						
	土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0																			
		復	4																							
			往																							
			復																							
		往																								
		復																								
小 計				25	108.0		34.0																			

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績					備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)														
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I				C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O												
6年	5月	平日	往	2	21	84.0	30.0%	26.0																	
			復	2																					
	土曜	往	2	3	18.0	30.0%	6.0																		
		復	4																						
			往																						
			復																						
		往																							
		復																							
小 計				24	102.0		32.0																		

年月	曜日区分	片道・循環回数 A	計 画			実 績					備 考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)														
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1 増便 G 運休 (-) H 天災*2 I				C+G+H= J	サービス提供時間 実運行時間 K 待機時間 L 回送時間 M 予約時間 N K+L+M+N= O												
6年	6月	平日	往	2	20	80.0	30.0%	24.0																	
			復	2																					
	土曜	往	2	5	30.0	30.0%	9.0																		
		復	4																						
			往																						
			復																						
		往																							
		復																							
小 計				25	110.0		33.0																		

※変更後

運行回数・サービス提供時間算定表③

運行系統		計画運行日数 B		297.0		実績運行日数 F				運休回数 (い)-(ろ)=(は)		399.0		*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。 (往、復、循環各1回)				
田代稲穂地区線		計画運行回数 (い) E		399.0		実績運行回数 (ろ)		J		やむを得ない運休回数 (に) I				*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの				
		サービス提供時間(り)		0		運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)												
年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A	計 画			実 績							備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)					
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間							
							増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O			
6年	7月	平日	往	2	22	88.0	30.0%	27.0										
			復	2														
	土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0											
		復	4															
		往																
		復																
往																		
復																		
小 計				26	112.0				35.0									

年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A	計 画			実 績							備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)					
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間							
							増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O			
6年	8月	平日	往	2	21	84.0	30.0%	26.0										
			復	2														
	土曜	往	2	5	30.0	30.0%	9.0											
		復	4															
		往																
		復																
往																		
復																		
小 計				26	114.0				35.0									

年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A	計 画			実 績							備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)					
			運行日数 B	運行回数 A×B=C	調整後の運行回数 調整% D	C×D=E	運行日数 F	運行回数*1			サービス提供時間							
							増便 G	運休 (-) H	天災*2 I	C+G+H= J	実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= O			
6年	9月	平日	往	2	19	76.0	30.0%	23.0										
			復	2														
	土曜	往	2	4	24.0	30.0%	8.0											
		復	4															
		往																
		復																
往																		
復																		
小 計				23	100.0				31.0									
合 計				297	1,290.0				399.0									